

ひがしかわ

# 議会

第140号

平成21年2月1日

[発行]  
東川町議会

[編集]  
議会報編集会  
特別委員会

〒071-1492  
北海道上川郡東川町東町1丁目  
☎0166-82-2111



## ひがしかわ氷まつり

第4回定例会を開催 .....	2
一般質問 .....	3
委員会報告 .....	12
第4回定例会の議案審議結果 .....	14
議会日誌・編集後記 .....	16

## 第4回 定例会を開催

第4回定例会を、平成20年12月10日から11日まで2日間開催しました。

9名の議員が一般質問をしました。

平成20年度一般会計予算・3特別会計予算を補正しました。

平成19年度一般会計・4特別会計の決算について、決算審査特別委員会の審査内容の報告を行い、認定するものとして承認しました。

11月28日に第5回臨時議会を開催し、大豊作記念米の全戸配布他が決まりました。

### 補正予算

歳入歳出予算総額から約958万円を減額し、歳入歳出総額を約42億7,600万円としました。事業費の確定による交付金や、補助金補正が主たるものです。

「写真の町」ひがしかわ株主事業寄付金が約370万円集まっています。

LGWAN（広域ネットワーク）サービス設備に約357万円かかります。

農業委員会委員の選挙（7月実施）が無投票当選となり、約219万円が減額となりました。

平成19年度国民健康保険負担金の精算により、約1,574万円を減額しました。

心身障害者の利用が増えて、事業費を約335万円増額しました。

ゴミの処理費が約142万円減額になりました。

21世紀北の森づくり推進事業が、今期の予定面

積より少ない実施であったため、減額しました。

町有車を1台、約494万円で購入します。8人乗りのワゴン車で、ハイブリッドのエコカーにする予定です。

#### 公共下水道事業

西部処理区の管工事が、当初予算よりも増額になりました。

#### 町立診療所

職員増や医師の住宅設費などで、約968万円増額します。

患者数減により収入も減ったため、一般会計から約1,287万円繰り出します。

#### 宅地造成事業

基金からの借入金1,430万円を返還します。

#### 上川広域滞納整理機構

旭川市の周辺8町では（旭川含まず）税・各使

用料・国民健康保険料・介護保険料などの滞納整理に関する業務を、平成21年4月から共同で処理することになりました。

### 第4回臨時議会

11月4日に開催し、13トン級の除雪ドーザ購入費約2,659万円を増額補正しました。

### 第5回臨時議会

歳入歳出に約1,630万円を追加しました。

福祉灯油として、非課税世帯で且つ65歳以上の方がいる世帯・身障者・精神障害者世帯・18歳以下の子供を扶養している世帯・生活保護世帯・準要保護世帯など約570世帯に1万円の灯油助成券を交付します。

生活支援支給費として、農協と大豊作祝いの米を全戸に配布します。

金額は780万円（農協と折半した金額）で、1戸5kgですが、昨年福祉灯油が2万円であったことから、福祉灯油対象者の約800人には5kgを贈呈します。

産業にぎわいづくり支援として、年末年始の商店街の大売り出し抽選券に対して、150円の割引券を補助します。

第4回臨時議会で予算化した除雪ドーザの入札により、旧ドーザとの交換差額約1,364万円を取得します。



# ココが聞きたい 一般質問

**問** モンスターペアレントの取り組みは  
**答** 開かれた学校づくりに「専門チーム」の設置を検討



原 博

**質問**

保護者が学校に理不尽な要求や無理難題を押し付ける、いわゆる「モンスターペアレント」が社会問題化しています。

個々の教職員や学校単位での解決が困難なケースが増えるため、各自治体は対応手順をまとめたマニュアルの作成、専門家で構成する対策チームの発足に乗り出しています。

たとえば、ほかの子をいじめめる児童を担当が

指導したら、保護者が「なぜうちの子を加害者にするのか」と恐喝や脅しの言動を繰り返した。保護者の児童虐待を児童相談所に通告したら、保護者が学校に暴言を繰り返した。

高校の授業料を徴収しよつとすると、保護者が脅しまがいの言葉を使って逃れるなど、子どもの年齢が上がるに連れて、発生率が上がる傾向にあります。教育長の所見をお伺いします。

**教育長**

近年、大都市においてモンスターペアレント現象が発生しているといわれており、教育現場が抱えている大きな問題のひとつとして注視されてお

ります。

政府の教育再生会議の第二次報告においても、学校における様々な課題を抱える子どもの対処や、保護者との意志疎通の問題等が生じている場合には「学校問題解決支援チーム(仮称)」を設け、保護者や住民に学校が抱える問題を隠さずに公開し、説明責任を果たすとともに、解決に誠実に取り組むこととされております。

今回事例を掲げてご質問頂きましたが、幸い各小・中学校からは、該当する事例は無いとの回答を受けております。

学校運営に当たりましては、保護者との学校関係者の信頼される関係づくりが最も大切と考えており、PTA活動に対する支援等にも努めて参り

たいと考えています。

今後の対応としましては、開かれた学校づくりを更に推進するためにも「専門チーム」設置について検討して参りたいと考えております。



**モンスターペアレント**  
幼稚園・学校に対して自己中心的で「理不尽な苦情」や「無理難題な要求」を突きつける保護者

# 一般質問

## 問 少子化対策は 答 国の総合的施策に期待



米田 保

### 質問

少子化の進行は若年労働力の減少に至り、社会活力の低下により福祉の充実は将来に大きく危惧されます。町長のお考えをお伺いします。

### 町長

今、どこの町や村でも抱える大きな行政課題は少子化対策です。少子化の要因の一つは、農村農業の衰退です。日本農業の危機を打破するために

も第一次産業が大切にされる国づくりとして、5ha水稲栽培規模で年間所得600万円程度が確保される、米価1俵2万円が確保される農業の実現と世論の賛同に期待します。

### 再質問

事業展開をし、少子化傾向に歯止めがかかるように努めています。

一次産業の変化と人口構造の変化の進む中、子どもを生き育てることの喜びや楽しさが実感できるための指針として、関係各団体が協力し住民参加による少子化対策に向けた総合的な検討をしてみるのが必要もあるのではないのでしょうか。

### 町長

子育て支援ということでは、平成19年度では交付税・一般財源を含め、一億円を超える負担をしています。町の対策では限

界に近い様などころに来ていますので、やはり国の方でももう少ししっかりとした総合的な施策を講じていただき、私どもは合わせてそれについて事業を展開していくということが、宜しいのではないかと思います。



君の椅子

# 一般質問

## 問 アライグマの防除対策について 防除実施計画に基づき被害防止に取り組む



谷 千代 栄

### 質問

11月22日の新聞報道によると、道北地方でもアライグマの被害が増加しています。

アライグマは、繁殖力が強く2002年に天塩町で道北初の捕獲があり、今年の7月現在の生息情報では30市町村に及んでいます。

被害は、スイカや飼料などを中心に545万円となっています。

本町において、今年6月に初めて捕獲され、放

### 町長

置していると被害が拡大する恐れがあり、今後アライグマ防除について積極的に推進する必要があると考えます。対策をお伺いします。

全道的には、平成19年には124市町村と急速に拡大しました。被害額は、平成18年度実績で約4,762万円となっています。

本町において、生息が確認されたことから環境省及び農水省に対し、特定外来生物法に基づく防除計画を申請し、10月16日付けで確認を頂いています。アライグマの被害防止には、広域的な捕獲・排除の取り組みが不可欠と言われています。

### 再質問

本町においても防除実施計画に基づき、東川町鳥獣被害対策連絡協議会が実施主体となり、明年度に、捕獲のための箱罠の設置及び捕獲技術講習会を開催します。農産物等への被害防止のため、生産者等関係者と一丸となってアライグマ防除を実施したいと考えています。

個人的に捕獲したい場合、実施する時に何か報酬がありますか。防除計画を義務付けて実施したいということですが、もう少し詳しくお聞かせください。

### 町長

国の補助で箱罠20個を購入し、被害の恐れのある倉沿線を中心に設置します。希望なり実際に被害があると思われる方々に申し出を頂いて設置したいと思います。

希望があれば、捕獲技術の講習会も実施したいと考えています。それらを含めた防除計画を、平

成21年度計画に盛り込んで行きたいと考えます。

捕獲は、講習を受けて専用の箱罠を設置するまでは宜しいということです。その後の処理については、共済組合等で薬殺等をしてもらうことになっていますので、捕獲の箱罠設置までは出来ることと理解下さい。



# 一般質問

## 問 定額給付金の経済効果は 産業関係者が知恵を出し、キャンペーンなどの実施



由川 英二

### 質問

政府が実施しようとしている定額給付金について、実施時期はいまだに未定であります。3点について伺います。

政府は経済対策として2兆円規模で全国民に支給し、1,800万円を下限に所得制限できるとしていますが、当町では制限を設けますか。給付額は一人12,000円、65歳以上と18歳以下は20,000円となっていますが、概算で

当町には総額どの位の金額になりますか。経済効果は如何ですか。大半が近隣の市・町で使われて、地元に対する経済効果は少ないと思っております。そこで地元で経済効果が最大限発揮される施策を講じて頂きたいと思っておりますが如何ですか。

### 町長

定額給付金については12月1日に事務説明会が開催され、「たたき台」としての案が示されています。「景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行うとともに、あわせて住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資する」となっています。

目的が「広く給付する」となっていますので、趣旨に沿って出来る限り広く給付することが良いと考えています。

11月末の住民基本台帳に登録されたもので積算しますと、1億2千万円程度の見込みです。目的の一つに「経済対策に資する」とありますが、一方では「生活不安に対する支援」もありま

一つは生活不安に備える、もう一つはこの機会に何かを買い求めることであり、両者とも目的に沿ったものと考えられます。地元に対する経済効果ですが、産業関係者が知恵を出し、受給者がお金を使いやすいキャンペーン

ンなどを実施することに期待しています。使ってくれることを待つていたのでは、ご指摘のようなことになると思いません。関係者に対して、より東川町で使って頂く名案のご提言頂ければ幸いです。商工会等とも検討させて頂きたいと思

います。

給付額は？	
1人につき	1万2000円
65歳以上 18歳以下	2万円
夫婦と18歳以下の 子ども2人の4人家族	6万4000円
65歳以上の夫婦	4万円

# 一般質問

## 問 食育施策の現状と今後の取り組みについて 答 地産地消の推進と食育活動実践



高橋 昭 典

### 質問

平年17年食育基本法が施行されました。

食育を推進し、教育やあらゆる社会の分野において、積極的に推進する取り組みを、関係者団体と連携して計画的に実施し、食育運動として一層の展開が望まれます。町長の所見をお伺いします。

### 町長

教育面では、東川小学

校に栄養教諭を配置し、各小学校の担任と共に、食育に関する重要性の授業や指導をしています。

農業面では、東川小学校5年生を対象に「田んぼの学校」を実施し、農協が、「コープの田」・「こっぺんスクール」を開設しています。

観光面では、農家民泊等で修学旅行生を受け入れ、グリーンツーリズム事業を推進しています。

本年の大豊作記念米として、全戸贈呈事業と福祉灯油対象世帯に対する全世帯員贈呈事業を実施しました。

姉妹提携した町に、日本食の素晴らしさを伝える交流を計画しています。お米を中心とした地場農産物を活用した各種事業を、地産地消の推進と

意義を確かめ合い、消費者・生産者・関係団体などの協力のもと、食育活動を実践します。

### 再質問

完全米飯給食（米粉を使った地場のパンや食材を含む）推進会議を実施してはいかがですか。

姉妹提携した町に対して、日本食を伝える交流計画について伺います。

### 町長

推進会議、条例については考えさせて下さい。

ルイーエナ町から、来年の5月のイベントへの招待があり、餅つきやおにぎりを披露します。

### 教育長

給食には東川産米で週4日以上出しており、18年度よりカレーは発芽玄米を提供しています。

米粉パンは月1回で、米粉麺なども導入しています。

### 再々質問

全国の学校給食で事故米が問題になりました。東川ではどうですか。

### 教育長

三笠フーズ系列から購入していた納入業者の今野醸造の厚焼き玉子で、過去に原料として使用された可能性はありますが、すでに消費されているので判りません。

今野醸造から、お詫びの文書が届いています。



# 一般質問

## 問 教育振興スーパーバイザーとは 答 町長部局の教育振興専門委員



大澤 聰

(一問一答方式)

質問

教育振興スーパーバイザーの位置づけについてお伺いします。

町長

教育分野における総合的な教育振興専門委員と考えています。小学校建設、高等学校・専門学校  
の存続及び振興という課題に対して、専門的な立場から提言し総合的な教育振興を図る、町長の補助機能的な性格を有するものです。

再質問  
教育委員会とのかかわりはどうなりますか。

町長

町長部局において、義務教育以外の分野にかかわる教育相談や小学校建て替えについて、アドバイスを受けます。

## 問 小学校での英語教育実施は 答 21年度先行実施に向け準備中

質問

英語教育の現状と今後の方向性、及び幼児教育の対応についてお伺いします。

教育長

小学校・幼児センターに、英語を母国語とする外国人を指導員として招き、母国の遊びを通して習慣・文化の英語教育を行う事業を計画しています。

再質問

23年度から小学校で英語教育が必修となります。

来年度から希望すれば実施も可能です。どうしますか。

教育長

5年生と6年生に英語

教育が導入されますが、21年度から先行実施するため準備を進めています。

## 問 特定健診、目標未達のペナルティは 答 詳細情報は未入、受診率向上に努力

質問

各種健診の受診率はどのくらいですか。目標の65%に達しない場合、ペナルティがありますか。

町長

11月末現在、25.5%です。2月末までに大きな伸びは期待が薄いと思います。特定健診受診率が低い場合のペナルティについては、詳しい情報が入ってきていませんが、受診率向上に努力します。



特定健診とは  
特定健診(特定健康診査)とは、厚生労働省により、平成20年4月から実施が義務づけられた、内臓脂肪型肥満に着目した健康診査です。



# 一般質問

## 問 大雪旭岳源水の利活用は

## 答 民間工場建設、販売計画を進める



兆 司 竹 佐

場用地として町有地3千㎡の売買契約を締結し、工場建設の詳細・具体化を進めています。販売等計画概要は、「新会社資本金一千万円程度、町の出資1割程度の要望有」による工場で、年間670万本(500ccボトル換算の製造販売を予定。

### 質問

ポトリング販売計画を説明下さい。

効能・効用は。鉱泉水にはなりませんか。

貴重な水資源を絶やさず、汚染せず、乱開発することなく、町民の財産として保有すべきです。

法的規制・対策を考えていますか。

名水の町として、産業にも具体的な活用を。

### 町長

(株)東洋実業・三菱商事(株)とポトリング工場について協議しています。工

## 問 地下水サミットの目的は

## 答 安全でおいしい地下水環境の保全

するよう検討します。

### 再質問

最大使用限度量を設けるべきではありませんか。

### 町長

最大使用量は、規制の必要があるのではないかと気がします。

### 質問

趣旨・目的を説明下さい。

「水道施設が無い町」から「安全でおいしい地下水」に変わっています。

「全国地下水サミット」「名水サミット」など、類似サミットが沢山あります。これらサミットとの違い及び次年度以降の計画などについて、説明下さい。

住民や国民により高い水意識の高揚を促し、塩素滅菌をしないで飲める

環境省の全面的な協力を頂くことになっていきます。水道施設が無いことよりも、水道施設を造らなくても安全でおいしい地下水が飲用できることを打ち出したほうが良い、とのアドバイスがあり、変えています。

前記の考え方によるサミットは他にはありません。来年の開催地が決まれば、賛同頂ける各自治体などが参加し、次年の開催地を決める方法で継続を考えています。

### 町長

「写真の町」と「名水の町」の統一ロゴマーク

### 再質問

公共施設などでも塩素殺菌しなくても良くなる対応はとれませんか。

「全国地下水サミット」「名水サミット」などは、東川にも参加資格があると思います。

### 町長

熊本県嘉島町など、規制していないところもあります。北海道にも規制を取り持つよう、チャレンジします。

情報収集・連携の視点から積極的に参加します。

# 一 般 質 問

**問** 麻疹・風疹の予防接種、助成拡大は適用外、各自で予防



藤 倉 智 恵 子

**町長**  
19歳以上の方々につきましては、予防接種法の適用外であり、個人および保護者等において判断し、任意接種で予防に努めていただくことが良いと考えています。

**再質問**  
対象者の摂取率は100%になりましたか。  
6月の北海道接種状況調査では、道内168の市町村の結果、東川は133番目でした。100%に対応するお考えはありませんか。

**町長**  
予防接種法という法律では義務化になっていません。

**住民福祉課長**  
9月末現在で、麻疹の予防接種率は、13歳が50.7%、18歳68.5%です。今後も個人通知を出して、早急に受診していただくように、努めていきたいと思っています。



**質 問**

麻疹・風疹の予防接種の制度が変わりました。予防接種を一度も受けていない人や、一度しか受けていない人は、今年から13歳になる年度と18歳になる年度に接種を受診すれば、個人負担がなくなりました。  
町民の安心安全を考えると、対象外の人たち(19歳以上)にも助成を講じるべきと思います。  
町長の所見をお伺いします。

**問** 新型インフルエンザについて  
**答** 保健所と協力連携で取り組む

**質 問**

新型インフルエンザの発生が懸念されています。大流行すれば国内で最大64万人が死亡する恐れがあるとされています。  
本町も対応策を考えておく必要があると思います。  
対応策をお考えであれば、お示しいただきたく、無ければ早急に作るべきと

**質 問**

考えます。  
町長の所見をお伺いします。  
**町長**  
保健所が中心になって北海道が樹立しています。「新型インフルエンザ対策行動計画」に沿った対策を推進することになっており、保健所の対策へ

**再 質 問**

協力し、保健所と連携で取り組むことになりました。町は新型インフルエンザの正しい情報の周知に努めていく考えです。  
**再質問**  
町としての対応策のマニュアルを考えていますか。

**町 長**

保健所とも相談しながらできるものなのかを相談したいと思っています。今のところはマニュアルの計画はありません。自らの責任において、体力づくりや健康管理に取り組んでいただきたいと思います。

# 一般質問

## 問 農業後継者の確保対策は 答 現支援を継続



鶴間松彦

### 質問

「食の安心・安全」・町の水源・自然を守る、大切な東川農業の後継者確保対策について、町長の所見を伺います。

本町の援助制度はどうなっていますか。  
農業高校・農業大学進学についての奨学金や補助制度、設備投資への貸付金・利子補給・補助金などの支援、後継者への奨励金制度の新設などをお願いします。

### 町長

新規就農者・農業後継者支援は平成8年から実施しています。就農研修は30万円を上限に、現在まで30人に支援しました。北海道の支援資金などを有効に活用し、就農研修資金、就農準備資金、研修生の家賃・パソコン導入助成もしています。助成は継続します。

奨学金や新規補助金

### 町長

は最重要課題で、農業委員会・農協と連携し、具体策を検討します。500万円未満無利子サポート資金の貸付期間の継続を農協と検討します。

### 再質問

現状では、重点的な取り組みとして不十分です。今後、検討していることはありますか。

世襲の後継者への対策、農業経験のない方の研修所得・住まいなど、農業委員会と詰めていきます。

## 問 井戸掘りの補助金の見直しは 答 調査してから検討

が必要と思います。

### 質問

「おいしい水給水施設整備事業補助金」制度は、20万円の足切りをやめて、補助額引き上げ、補助率を公平にするなどの改善

### 町長

居住開始後の新たな水質検査、井戸工事に補助金を出し支援しています。

### 再質問

15mまでの井戸工事費用(20万円程度)を自己責任とし、その深さを超える費用の半分、60万円を限度としています。簡易水道地区の市街地農家地区に水質検査を実施しています。山沿いの一部で鉄・マンガンが多い水質の地域があります。鉄・マンガン除去装置を設置する場合の支援を、調査検討中です。

水質が悪いとか、水量が充分ない地域があるのに、「自己責任」とは無理があると思います。深く掘ることを想定した補助制度ですが、やめたく横を掘ったら出た例もあります。深掘の半分補助でなく、足切り20万円をやめてボーリング費用半分という公平な補助を考えませんか。

リベラルファーム近くのボーリング結果について、教えてください。

### 町長

生活用水の確保は自己責任であることを基本とし、不備が出た時点で施策を思っています。昨年からの実施で補助変更は尚早です。

### 長原副町長

今までの調査からは、すぐ横を掘って水質が変わるのは考えにくいです。リベラルファームのボーリングは12月4日で、水質結果は15日に出る予定です。もっと調査をしてから、補助制度の見直しを考えたいと思います。

### 再々質問

町民が東川の何処に住んでもおいしい水が得られる制度にすべきです。

### 町長

総合的に調査して、必要と判断したら検討します。

# 委員会報告

## 決算審査特別委員会

### 平成19年度

### 決算認定について

一般会計・国民健康保険特別会計・簡易水道事業特別会計・公共下水道事業・国民健康保険東川町立診療所特別会計の歳入歳出決算を認定すべきものとしました。

第3回定例議会で、議長と議会選出の監査委員を除いた12人により、「決算審査特別委員会」を設置しました。

11月4日、審査を行った結果認定すべきものとして、議会に報告されました。

### 決算審査報告

#### 1 一般会計

##### 「地域活性化関係」

町の姿勢・歴史・文化・魅力を知らせるための「町勢要覧」の作

成を進められたい。

##### 「住民福祉関係」

町立診療所と連携し、各種検診の受診率の向上を図ること。

##### 「税務関係」

各種税などの収納率の向上に努められたい。

##### 「産業振興関係」

中心市街地・商店街の活性化は急務であり、効果的な対策を講じられたい。

大雪山国立公園の保護協会の補助支援を継続して、自然環境保護に努められたい。  
農業後継者対策に一層努められたい。

##### 「都市建設関係」

町内数力所の大雨時の増水について、検討し対策を講じられたい。  
除雪を効率的、効果的に見直されて、冬の交通安全対策に努められたい。

大雪湧水公園のトイレの洋式化を、北海道に要望・実現されたい。

#### 2 特別会計

町立診療所において、

21年度から院外処方を実施される。地域医療を担う機関として経営面にも考慮しての運営にあたら

2つの中学の合併案は、高齢者等の反対で実現していない。

## 総務文教常任委員会

#### 調査日

平成20年9月3・4日

#### 調査事項

学校施設整備の先進地視察（苦前中学校）

#### 調査内容

校舎は平成17年9月、グラウンドは平成18年3月に完成。

築26年の旧校舎が鉄骨の腐食、耐震面も含めて危険なため、緊急に建て替えが必要となった。検討委員会は設置しなかった。実施設計は業者、基本構想・基本設計は職員が行った。

厳しい町財政の中、コ

スト減は優先課題である。

木造はコストがかかるために、内装に可能な限りの木材を利用した。

小規模の中学で、普通教室以外の施設は揃えねばならず、平屋の割高な施設である。

コスト減の配慮で、図書室を設けず、廊下を広く取って図書スペースにしている。内装の木感はずわみと柔らかさを感じ



# 委員会報告

られる。

国の補助金と交付税補填の地方債を研究して、実質の町負担を、かなり低くしている。

本町の小学校建設においては、2階建て以上になることから、鉄骨あるいは鉄筋コンクリートとすべきと考えられる。

「ひがしかわ」らしい景観に十分に配慮し、内装は木感重視が望ましい。

食堂の設置など、現校舎より面積も大きくなると考えられる。児童センター・老人センターの複合施設として「町民交流センター」を隣接設置するにあたっては、小学校との建設思想の調和を図るべく、敷地面積も多めに設計すべきである。

今後の建設資材の高騰も考えられ、コスト節減や町負担を少なくする努力が必要である。

今後、小学校を4校も運営することは財源的にも厳しくなることが予想

され、統廃合も考慮して整備すべきである。統廃合については、地域住民の理解が得られるように

努力を望むものである。残った校舎の再利用計画も重要である。

## 議会運営委員会

調査日

平成20年10月6・7日

調査事項

議会運営と議会改革の先進地視察調査(今金町)

調査内容

分権時代に対応した、町民に信頼され存在感のある議会を目指し、北海道で2番目に「議会基本条例」を制定した。



町民の代表機関として、

地域の民主主義の発展と福祉の向上に果たす役割は、将来に向けて益々大である。地方分権時代、「自治体の自主的な決定と責任」の範囲が拡大した今日、議会は権能を充分に駆使し、自治体事務の立案・決定・執行・評価における論点争点を明らかにする責務を有する。

まとめ

今金町議会基本条例は、議員自らが調査研究し制定している。学識経験者等の助言を得て制定した栗山町と違って、手作りの条例であり、この努力は評価するものである。

認識をしっかりと持ち、意味で、議会基本条例の制定は尊重すべきである。

現在の「二元代表制」、執行権は理事者で予算提案権も議会にはないなど、議会の権能が弱い。議会基本条例制定は充分な議論をもって慎重に検討す

べきである。

議会も住民の意思が反映できる民主的な活動体制づくりや資質向上の努力が必要であることを一層考えさせられた。

### お詫びと訂正

平成20年11月1日発行の第139号3ページの人事承認の記事で、固定資産評価審査委員会委員のお名前が「石澤清弘氏」とあるのは「石澤清宏氏」の誤りでした。訂正の上お詫びいたします。

# 第5回臨時会の主な質疑

(平成20年11月28日)

質問事項

質問者

質問要旨

町長答弁

福祉灯油について	大澤 聡 鶴間松彦 佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 去年から比べると相当安くなっています。やるという理由、考え方は、年令制限でなく、全て住民税非課税世帯を対象とするのが公平では。</li> <li>・ 夏場は高くここのへきて急激に下がって来ています。柔軟に対応すべきではありませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これから先の暖房灯油ということではなく、今年一年間トータル的に見えています。</li> <li>・ 個別事例については相談をして頂く事が良いのではないかと思っています。</li> <li>・ 昨年矛盾があったところについては、直しながら給付を考えています。道の補助金を最大限生かして住民福祉の向上を図ります。</li> </ul>
大豊作記念米贈呈事業補助金について	佐竹司兆 高橋昭典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 75歳以上にこだわらず、全世帯に配っても良いではないですか。</li> <li>・ 米贈答の関係で、学校給食と幼児センター、そういったところに支援をして頂く考えは如何ですか。</li> <li>・ 詳しく説明して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の皆さんがしっかりと東川の農業を守ってこられたということ、お互いに助け合いながら東川という農業を中心とした町を守って来た、そういった先人に対する感謝の気持ちも込めて考えています。</li> <li>・ (議会休憩後、訂正提案されました。)</li> </ul>
産業にぎわいづくり支援事業について	佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抽選を1回すると150円の割引券がもらえるという取り組みで、商店街の活性化を図るものです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抽選を1回すると150円の割引券がもらえるという取り組みで、商店街の活性化を図るものです。</li> </ul>

# 第4回定例会の主な質疑

(平成20年12月11日)

一般会計補正予算	鶴間松彦 藤原啓子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 還付金の過誤還付とはどのようなことですか。</li> <li>・ ライオンズから文化交流館に寄付を頂いたので予算を町に戻すのはライオンズの主旨に合わないのではないですか。</li> <li>・ 設計変更について詳しく説明して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (税務課長) 法人町民税の還付です。中間申告で予定納付したものが多過ぎたので返すものです。</li> <li>・ (生涯学習課長) 図書購入予定だったものが寄付により購入費を戻しました。</li> </ul>
公共下水道事業特別会計	佐竹司兆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者、外来入院等の状況について。</li> <li>・ 設計変更について詳しく説明して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (都市建設課長) 当初安価な工法で予算しましたが、その工法でうまく行かず工法を変更しました。</li> </ul>
町立診療所特別会計	鶴間松彦 藤倉智恵子 長峰毅八	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者、外来入院等の状況について。</li> <li>・ 医師住宅の建築設計100万円は高いのでは。</li> <li>・ 1割以上の増、当初の計画が厳しいのでは。</li> <li>・ 一戸建て住宅の設計くらいは、委託しないで事務方でするべきだと思います。</li> <li>・ 操出金(赤字)が常時1億になってしまつのではないかと思われ</li> <li>・ 減らす努力や医療体制をどう考えるかが重要ですが、見解をお聞かせ下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (診療所事務長) 外来患者は減っています。1日あたり5人減で84人位です。入院の収入が減っています。予防接種、健診は例年通りです。</li> <li>・ (都市建設課長) 正規の算出に比べて50万円ほど低く抑えています。</li> <li>・ 当初予算を厳しくして、弾力性がありませんでした。次年度はこのような補正がないよう努めます。</li> <li>・ (長原副町長) 資格を有する職員はいますが、現在の仕事がピーク状態です。できれば自賄いで設計したいと考えています。</li> <li>・ 診療所は町民にとって必要です。経費を抑えるのも限界があり、患者数増を考えると、信頼され愛される診療所を職員あげて作っていく必要があります。</li> <li>・ 全体経費の75%は診療収入で賄える経営を目標としています。</li> </ul>

## 第4回定例会の議案審議結果

(平成20年12月11日)

区分	議件名	議決の内容	結果
補正予算	平成20年度 東川町一般会計補正予算(第7号) について	・9,578千円を減額し、総額4,276,685千円とする	原案可決
	平成20年度 東川町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) について	・5,043千円を追加し、総額198,543千円とする	"
	平成20年度 東川町国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算(第1号) について	・9,675千円を追加し、総額417,175千円とする	"
	平成20年度 東川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号) について	・8,128千円を追加し、総額73,928千円とする	"
条例等	東川町地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	・西部地区コミュニティセンターの改修工事を伴う使用料条例の一部改正	原案可決
	東川町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	・住民税の特別徴収に関する施行月日について「21年度から施行する」であったものを「当分の間施行しない」という附則の実施時期の改正	"
人事案件	被表彰者の推薦について	・盆栽・愛石会(善行表彰)、消防団員11名(自治功労)、教育文化功労2名・永年功労1名(一般功労)、特別功労1名の町表彰	推薦決定
その他案件	上川広域滞納整理機構の設置について	・上川広域滞納整理機構の設置	原案可決
審査報告	平成19年度 東川町一般会計外4特別会計決算認定について	・藤原啓子決算審査特別委員会委員長より報告	認定
調査報告	・学校施設整備の先進地視察について ・議会基本条例の先進地視察について	・本多信義総務文教常任委員会委員長より報告 ・原博議会運営委員会委員長より報告	報告済
その他	閉会中の所管事務調査等の申し出	・総務文教・産業建設・議会運営の各委員長からの申し出	承認

## 第4回臨時会の議案審議結果

(平成20年11月4日)

補正予算	平成20年度 東川町一般会計補正予算(第5号) について	・26,588千円を追加し、総額4,269,967千円とする。	原案可決
------	------------------------------	---------------------------------	------

## 第5回臨時会の議案審議結果

(平成20年11月28日)

補正予算	平成20年度 東川町一般会計補正予算(第6号) について	・16,296千円を追加し、総額4,286,263千円とする。	訂正案可決
その他案件	平成20年度 建設機械(除雪ドーザー13t級)の取得について	・除雪ドーザー13t級の取得について	原案可決

# 議 会 日 誌

## 平成20年 11月

- 13日 鹿追町議会議員視察対応（幼児センター）  
（総務文教常任委員長出席）
- 17日 ラトヴィア独立90周年記念式典（議長出席）
- 18日 上川支庁管内町村議長会臨時総会（議長出席）  
例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
- 19日 全国町村議会議長会全国大会（議長出席）
- 28日 第4回定例会前の各常任委員会
- 30日 上富良野町長当選祝い（議長出席）



## 12月

- 1日 藤田紘一郎名誉教授「世界の水・長寿の水」講演会  
（議長他出席）
- 2日 議会運営委員会
- 3日 中央部正副議長会定例会議（議長出席）
- 7日 故筑紫哲也さんをしのぶ会（於大分県日田市、議長出席）
- 10～11日 東川町議会第4回定例会
- 16日 例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
- 22日 一部事務組合・大雪地区広域連合12月定例会

## 平成21年 1月

- 5日 出初式
- 11日 成人式
- 13日 「定住圏自立構想」等に関する道北地域合同説明会  
（議長出席）
- 14日 議会報編集委員会
- 16日 新春懇談会（正副議長出席）
- 17日～19日 第35回 ひがしかわ氷まつり
- 19日 東川町老人クラブ連合会新年交礼会（議長出席）
- 20日 例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
- 21日 議会報編集委員会
- 26日 議会報編集委員会



### 編集後記

「故郷」と言う言葉で浮かぶのは、旭岳であり、学校・通学の道・街並み、育った家や先祖の墓である。昨年東川出身者の東京会・札幌会に出席した。帰省する実家の無い方もあった。見知らぬ土地での苦労もあつたであろう。「ふるさとの山はありがたきかな」、故郷を思うことは人生の癒しである。東川が幸せなまちであってほしい。「ひがしかわ株主制度（ふるさと納税）」は、1月発表で300人近い株主が集まった。住民たる我々は、住民も株主も納得する「愛される東川」を作る責任がある。余裕のある人はお金を、元気な人は労力を、技のある人は技能を提供しよう